

チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ Bt11 系統
及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ GA21 系統の概要

項 目	概 要	
品 種	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ Bt11 系統	除草剤グリホサート耐性トウモロコシ GA21 系統
申請者	シンジェンタ シード株式会社	日本モンサント株式会社
開発者	Syngenta Seeds AG	Monsanto Company
製品の概要	<i>cry1Ab</i> 遺伝子の導入によって Cry1Ab タンパク質が発現し、チョウ目害虫（ヨーロッパアンコーンボラー）抵抗性を示す。また、 <i>pat</i> 遺伝子の導入によって phosphinothricin N-acetyl transferase (PAT) タンパク質が発現し、除草剤グルホシネート耐性を示す。	<i>mEPSPS</i> 遺伝子の導入によって mEPSPS タンパク質が発現し、除草剤グリホサート耐性を示す。
宿主	デント種のトウモロコシ (<i>Zea mays</i> L.)	デント種のトウモロコシ (<i>Zea mays</i> L.)
挿入遺伝子 (供与体)	・ <i>cry1Ab</i> 遺伝子 (<i>Bacillus thuringiensis</i> subsp. <i>kurstaki</i> 由来) ・ <i>pat</i> 遺伝子 (<i>Streptomyces viridochromogenes</i> 由来)	・ <i>mEPSPS</i> 遺伝子 (<i>Zea mays</i> L. 由来)
選抜マーカー (供与体)	—	—
新たに獲得された性質	・ チョウ目害虫(ヨーロッパアンコーンボラー)抵抗性 ・ 除草剤グルホシネート耐性	・ 除草剤グリホサート耐性
安全性審査を経た旨の公表 (官報告示日)	2001 年 3 月 30 日	2001 年 3 月 30 日